

三重県教育委員会教育長 宛て

提出日 令和 年 月 日

高校生等奨学給付金受給申請書

学校受付日
令和 年 月 日

(新入生一部早期給付2回目(7月~3月分))

次のことを誓約(同意)のうえ、高校生等奨学給付金を申請します。
なお、当該給付金の受領については、申請書類に記入した内容で振込をお願いします。

【1. 誓約事項】(次の5点を確認の上、口に☑をしてください。)

- ☐ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
☐ この申請書に虚偽の記載があった場合は、三重県の求めに従いその全額を即時返還します。
☐ 私は三重県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
☐ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅行費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。
☐ この申請の審査に必要な事項について、自治体、福祉事務所及び高等学校等へ照会することに同意します。

【2. 申請者(保護者等)】 ※専攻科は「保護者等」を「生計維持者」と読み替えます。

フリガナ
申請者(保護者等)
高校生等との続柄
生年月日 S 年 月 日
H
日中連絡が取れる電話番号
住民票住所(7月1日現在)
注:住民票どおり正確に記入してください。(〇〇丁目〇〇番〇〇号など)
通知送付先住所(住民票住所と同じ場合は記入不要)
注:住民票住所とは別の送付先を希望する場合のみ記入してください。

【3. 申請者以外の保護者等】 ☐保護者等が1名のため省略(該当する口に☑をしてください。)

フリガナ
申請者以外の保護者等
高校生等との続柄
住民票住所(7月1日現在)
☐申請者の住所と同じ ☐申請者の住所と異なる(下記に住所を記入してください)

【4. 対象となる高校生等】(該当する口に☑をしてください。) ※別紙1「記入上の注意」を参照

フリガナ
名前
生年月日 S 年 月 日
H
これまで奨学給付金を受給した回数
7月1日現在在学する高等学校等
種類 学校名・学年
課程
入学年月 H 年 月
R
過去に在学した高等学校等
種類 学校名
課程
在学期間 H 年 月 ~ H 年 月
R

【5. 申請等】(該当する申請区分の口に☑をしてください。) ※認定基準日は、令和6年7月1日

Table with 5 columns: 世帯種別等, 申請区分, 1回目給付額(4~6月分), 2回目給付額(7~3月分), 給付額(年額). Rows include 生業扶助受給世帯 and 非課税世帯 with various sub-categories.

※2回目は、給付額(年額)から1回目に給付された額を差し引いた金額となります。

(裏面に続く)

【6. 保護者等の収入状況について】（6-1又は6-2のどちらかに☑をしてください。）

6-1. 生業扶助受給世帯の方

（生活保護（生業扶助）を受給している世帯）

私の世帯は、7月1日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）を受給しているため、確認できる証明書を提出します。 ※この用紙の記入はこれで終わりです。

6-2. 非課税世帯の方

（道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税の世帯）

私の世帯は、7月1日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費）を受給していません。

次の者の課税証明書等を提出します。

（該当する①～⑤に☑をしてください。②～⑤の場合には、理由欄の該当する口に☑をしてください。）

①	<input type="checkbox"/> 親権者（両親）2名、 または主たる生計維持者（両親）2名（在学中に高校生等本人が成人になった場合等）	
②	<input type="checkbox"/> 親権者1名、または主たる生計維持者1名 （在学中に高校生等本人が成人になった場合等）	理由（②～⑤の場合には、必ず☑が必要です。） <input type="checkbox"/> 認定基準日より前に親権者が離婚・死別したため。 <input type="checkbox"/> 再婚はしたが、対象となる高校生と再婚相手は養子縁組をしていないため。 <input type="checkbox"/> 未婚のまま出産したため。 <input type="checkbox"/> DV・虐待等により、就学に要する経費を親権者に求めることが困難なため。 <input type="checkbox"/> 対象となる高校生等本人が成人のため。 <input type="checkbox"/> その他（理由をご記入ください。） []
③	<input type="checkbox"/> 未成年後見人（ ）名 （複数選任されている場合は全員分）	
④	<input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 1名 ※上記②以外 （生徒の生計をその収入により維持している者）	
	対象となる高校生等本人の健康保険証の情報を下記に記入してください。ただし、第2子となる場合は「扶養誓約書」に記入してください。	
⑤	<input type="checkbox"/> 対象となる高校生等本人 （親権者、未成年後見人及び主たる生計維持者のいずれも存在しない場合） 対象となる高校生等本人の健康保険証の情報を下記に記入してください。	

◆上記【6-2. 非課税世帯の方】で④⑤に該当する方は、下記に高校生等本人の健康保険証について記入してください。

高校生等との関係	対象となる高校生等の名前 (A)	保険者名称	資格取得年月日	有効期限	健康保険証の被保険者の名前 (B)
例1	祖父 (高校生等本人の名前)	国民健康保険 (津市)	R2.4.1	R6.9.30	(国保は世帯主の名前)
例2	叔父 (高校生等本人の名前)	全国健康保険協会	H27.4.1	—	(叔父(申請者)の名前)

※申請者が上記⑤「対象となる高校生等本人」の場合は、(A)(B)ともに「高校生等本人の名前」を記入してください。

【7. 扶養親族（兄弟姉妹）の状況について】（申請区分3（第2子）で申請する方のみ記入してください。）

◆7月1日現在、対象となる高校生等に加え、扶養している高等学校等に通う兄弟姉妹又は15歳（中学生を除く。）以上23歳未満の兄弟姉妹がいる場合は、☐に☑をし、別紙3「扶養誓約書（第2子 兄弟姉妹の状況について）」に記入の上、提出してください。

◆同居していても、就業しており、本人名義の健康保険証を有している兄弟姉妹は対象外ですので記入不要です。

7月1日現在、対象となる高校生に加え、高等学校等に通う兄弟姉妹又は15歳（中学生を除く。）以上23歳未満の兄弟姉妹を扶養していることを誓約します。

※高等学校等に通う兄弟姉妹とは、高等学校等就学支援金又は学び直し支援金の国費の支給を受ける資格を有する兄弟姉妹のことです。

※申請書の記入にあたっては、別紙1「記入上の注意」をご確認ください。